

**教育委員会の事務の管理及び  
執行状況に関する点検・評価報告書  
(平成26年度対象)**

**平成27年9月  
新潟市教育委員会**

— 目次 —

I	はじめに	1
II	教育委員会の活動状況について	2
1	教育委員会会議の開催状況	2
2	教育委員会会議以外の活動状況	3
3	平成26年度の主な取組と成果	6
III	新潟市教育ビジョンの施策評価について	9
1	平成26年度施策評価一覧	9
2	主な施策・事業の評価状況	10
3	教育ビジョン推進委員からの主な意見・要望と教育委員会の対応	16

## I はじめに

平成19年6月に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が一部改正され、平成20年4月から、各教育委員会において、毎年、教育に関する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、地教行法第26条の規定に基づき、平成26年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検・評価を行いました。

本報告書は、その結果をまとめたものであり、「II 教育委員会の活動状況について」では、教育委員会会議の開催状況や、会議以外の教育委員の活動状況について記載しています。

また、「III 新潟市教育ビジョンの施策評価について」は、本市教育委員会の活動の根幹をなす「新潟市教育ビジョン」の平成26年度の施策の実施状況、進捗状況等について、有識者などで構成される「新潟市教育ビジョン推進委員会」の知見を活用しながら、点検・評価を実施した内容となっています。

教育ビジョン推進委員会における施策評価の状況などについては、巻末に参考資料として掲載してあります。

### 【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II 教育委員会の活動状況について

### 1 教育委員会会議の開催状況

#### ○新潟市教育委員会定例会・臨時会

平成26年 4月定例会	第22期新潟市文化財保護審議会委員の委嘱について他
平成26年 5月臨時会	新潟市教科用図書選定委員会の委嘱について他
平成26年 5月定例会	「アグリ・スタディ・プログラム」について他
平成26年 6月定例会	潟東東小学校・潟東西小学校・潟東南小学校の統合に係る要望書について他
平成26年 7月定例会	平成27年度使用新潟市立学校用教科用図書採択について他
平成26年 8月定例会	平成26年度新潟市奨学生等の選考結果について他
平成26年 9月定例会	平成26年度全国学力・学習状況調査 新潟市の結果について他
平成26年10月定例会	平成25年度児童生徒の問題行動調査の結果の速報について他
平成26年11月定例会	新設統合校（新潟市立日和山小学校）の通学区域の設定について他
平成26年12月定例会	平成26年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について他
平成27年 1月定例会	教職員の人事措置について
平成27年 2月定例会	平成27年2月議会定例会の議案について他
平成27年 2月臨時会	教育委員の辞職について他
平成27年 3月臨時会	指導が不適切な教職員に関する委員会の報告について他
平成27年 3月定例会	新潟市教育ビジョン第3期実施計画の策定について他

#### ○教育委員会会議の公開等に関すること

- ・会議について 原則公開（人事案件等非公開の場合あり）
- ・開催案内について ホームページ・市報にいがた等に掲載
- ・会議案件について ホームページで案件名を事前に公開
- ・会議録について 会議終了後、会議速報をホームページに掲載  
会議録作成後、速やかに、ホームページに掲載及び市政情報案内室において公開
- ・傍聴の平均人数 2.53人

- ・ 地教行法等に基づき、新潟市では毎月、教育委員会定例会及び必要に応じて臨時会を開催しており、平成26年度は15回の会議（定例会12回、臨時会3回）を開催しました。（付議事件44件、報告案件21件）
- ・ 教育委員会定例会の案件となる前に、事前に協議会などを開催し、案件について十分な検討を行っています。平成26年度は、「新潟市スポーツ推進計画第2次「スポ柳(ル)都(ト)にいがた」プランに対する意見について」などの検討を行いました。また、会議の資料については事前に教育委員に配付され、各教育委員が十分内容を把握した上で定例会に出席しており、毎回活発な意見が交わされています。
- ・ 会議は、原則公開で行われています。（人事案件等非公開の場合あり。）

## 2 教育委員会会議以外の活動状況

### ○市内視察

平成26年 5月 新関小学校（地域連携事業）

平成26年 9月 大淵小学校，白根小学校（地域連携事業）矢代田小学校（マイスター公開授業）

平成26年10月 山瀧小学校（マイスター公開授業）松浜中学校（ミーティング）

平成26年11月 女池小学校，両川小学校（マイスター公開授業）白根第一中学校，大江山中学校，  
山の下中学校，新潟小学校（ミーティング）教育相談センター（研究会）

平成26年12月 岩室中学校，金津中学校，小針中学校（ミーティング）

平成27年 1月 潟東中学校，潟東南小学校（統合予定校）

※中学校区教育ミーティング実施校を含む。

17カ所程度の学校の視察を行い，実際の教育現場の状況を把握するようにしています。  
また，視察の際は，教職員等と意見交換を行うなど，情報交換に努めています。

### ○行政視察（県外視察）

平成26年11月 宮城県仙台市

- ・仙台市教育委員会仙台子ども体験プラザ - Elem（エリム）

（自分づくり教育を小学校高学年と中学生を対象に，体験型経済教育プログラムを実施）

- ・仙台市教育委員会仙台市立西中田小学校

（放課後子ども教室事業。地域と一体となり子供をはぐくむ環境が充実，放課後等の学校施設を活用し，児童に学習・スポーツ・地域の体験活動及び交流活動等の機会を提供と，放課後児童健全育成事業を一体的あるいは連携して実施）

- ・仙台市教育委員会沖野学園（仙台市立沖野中学校）

（自分づくり教育を小中連携により，確かな学力の向上を図るとともに，人とのかかわりを大切にしながら望ましい勤労観・職業観・自立する力をはぐくみ，社会人としてより充実した生き方を切り開いていくことを目的とした教育を実施）

- ・ 先進地の教育行政を参考にして，新潟市の教育行政に役立てるため，1年に1度，県外での行政視察を行っています。
- ・ 仙台市教育委員会の先進的な取組である体験型経済教育プログラム（仙台子ども体験プラザ - Elem（エリム）），地域と一体となり子供をはぐくむ環境を充実させる放課後子ども教室事業（仙台市立西中田小学校），他に沖野学園での取り組みを視察しました。

### ○指定都市教育委員・教育長協議会・他団体関係

- 平成26年 6月 第1回指定都市教育委員・教育長協議会  
平成26年 7月 新潟県市町村教育委員会連合会定期総会・研修会  
平成26年10月 新潟県都市教育長協議会 秋季定期総会（新潟市開催）  
都道府県・指定都市新任教育委員研究協議会  
平成27年 1月 第2回指定都市教育委員・教育長協議会

- ・ 指定都市教育委員・教育長協議会に委員長，新潟県都市教育長協議会に教育長が参加している他，その他連合会にも加盟し，他指定都市や他市町村の教育委員とも積極的に情報交換をおこなっています。

### ○懇談会・意見交換会

- 平成26年 7月 区教育ミーティング（中央区及び西蒲区）  
平成26年 8月 区教育ミーティング（南区及び西区）  
平成26年 9月 区教育ミーティング（秋葉区及び東区）  
平成26年10月 区教育ミーティング（北区及び江南区）  
中学校区教育ミーティング（北区）  
平成26年11月 区教育ミーティング（西区）  
中学校区教育ミーティング（南区，江南区，東区及び中央区）  
平成26年12月 区教育ミーティング（北区，中央区，東区及び南区）  
中学校区教育ミーティング（西蒲区，秋葉区及び西区）  
平成27年 1月 民間人校長との意見交換会（校長の採用から現在までを振り返り，現場での奮闘ぶりや目指す学校像と今後の課題について）  
小中学校PTA連合会との懇談会  
区教育ミーティング（江南区，秋葉区及び西蒲区）  
平成27年 2月 市長・副市長との懇談会

- ・ 教育委員会と地域との連携強化，開かれた教育委員会を目指し，各区の自治協議会委員と区教育ミーティングを年2回行いました。第1回は「教育委員会制度等について」，第2回は「地域と学校の連携について」をテーマに懇談しました。また，各区1中学校区で中学校区教育ミーティングを行いました。
- ・ 民間人校長である立仏小学校長，竹尾小学校長との意見交換の他，市長・副市長と，「平成26年度教育ミーティングについて」をテーマに懇談会を開催しました。また，PTA連合会の幹部と，テーマは特に定めずに懇談を行い，連携を深めました。

○学校周年事業等への教育委員の出席状況

平成26年 5月 新潟柳都中学校開校記念式典

平成26年 6月 笹口小学校竣工記念式典，下山小学校創立60周年・竣工記念式典

平成26年 9月 沼垂小学校竣工記念式典

平成26年10月 栄小学校閉校式典，坂井輪小学校創立40周年記念式典，岩室中学校創立50周年記念式典，浜浦小学校創立80周年記念式典，木崎小学校創立140周年記念式典，小合小学校創立50周年記念式典，臼井小学校創立20周年記念式典

平成26年11月 亀田西中学校創立30周年記念式典，有明台小学校創立60周年記念式典，鎧郷小学校創立80周年記念式典，湊小学校閉校式典，味方小学校創立40周年記念式典，豊照小学校閉校式典，入舟小学校閉校式典，中之口中学校創立50周年式典

○卒業式への教育委員の出席

平成26年 3月 万代高等学校，明鏡高等学校，高志中等教育学校，東特別支援学校，西特別支援学校

○その他の出席

成人の日のつどい，小・中学校教員採用選考検査確認，市立学校園長全体研修会，教育フォーラム，市民フォーラム等

### 3 平成26年度の主な取組と成果

平成26年度も教育ビジョン後期実施計画に基づき、「確かな学力の向上」、「家庭・地域の教育力の向上」、「学・社・民の融合による教育の推進」などに引き続き取り組みました。

教育委員会の主な取組と成果として、次のことがあげられます。

#### ① 教育委員の増員と教育ミーティングのモデル実施

教育委員が区の特性や教育現場の実情を把握し、市全体の教育に活かすため、教育委員を3人増員して9人体制とし、教育長を除く8人が4人1組で4つの区を担当しました。

区担当教育委員の活動として、教育情報を地域に発信するとともに、地域の実情を把握するため、各区の自治協議会と意見交換を行う区教育ミーティングを各区で年2回モデル実施しました。

また、中学校区内のコミュニティ協議会、保護者、地域教育コーディネーター等と意見交換を行う中学校区教育ミーティングを、各区1中学校区でモデル実施し、その中学校区の教育の実情や取組などを把握し、中学校区内の地域と学校の連携を深めて、取組の向上・発展を図りました。

#### ② 学校適正配置の推進

子どもたちのより良い教育環境の確保を目指して策定された「学校適正配置基本方針」に基づき、複式学級や教室の不足が見込まれる緊急性の高いいくつかの地域で「地域検討会」が設立されて協議を開始しています。

潟東地域では、平成28年4月に潟東東小学校、潟東西小学校及び潟東南小学校の3校を新設統合することを正式に決定しました。また、平成29年4月を目途に満日小学校を阿賀小学校に編入することを地域検討会から要望書が提出され、統合に向けた調整を進めています。

一方で、学校存続の要望のあった学校区のコミュニティ協議会とも、情報交換等を行い、今後の学校のあり方について検討を継続しています。

#### ③ 基礎・基本を身につける教育の推進

本市独自の単元評価問題の学校向けWeb配信を継続し、その結果や分析をWeb通信で紹介し、授業改善に役立つよう促しています。

単元別の基礎的・基本的な知識・技能の習得状況を把握し、児童生徒へのきめ細かな指導に役立てることができ、全国学力・学習状況調査等の結果においても向上が見られました。

また、大学生などの学習支援ボランティアを引き続き各校に配置するなど、児童生徒一人一人の学力実態の的確な把握と、きめ細かな指導に努めました。



#### ④ 地域と学校パートナーシップ事業の充実

学・社・民の融合による教育を推進する取組として、「地域と学校パートナーシップ事業」を引き続き実施しました。事業に伴う、地域教育コーディネーターは274名、学校支援ボランティアの活動機会は延べ51,178回、延べボランティア数は219,848人となり、学校を中心とした地域コミュニティや地域の教育力の一層の醸成が図られました。

また「地域と学校ウェルカム参観日」を市内16校で開催し、教育活動の公開、学校職員や参加者同士の交流を深めることで事業の周知と推進を図りました。

#### ⑤ アグリ・スタディ・プログラムの取り組みの開始

昨年6月に「いくとぴあ食花」、「アグリパーク」がオープンし、学校教育田、学校教材園、近郊の農家での農業体験を合わせた教育ファームの取組を開始しました。その中心となるプログラムが「アグリ・スタディ・プログラム」です。

このプログラムは、子どもたちが知識と体験を結びつけ、実感の伴った学びを実践できるように、学習指導要領との関連を図ると共に、五感を働かせて学習課題を解決したり、仲間や農家、専門家とかかわりながら、体験を言語化、数値化、絵図化したりする学習を行うことができるように作成したものです。教育ファーム全体の取組は、市内の全ての学校で行われており、アグリパークの利用については、小学校延べ72校、中学校延べ13校でした。

今後、「アグリ・スタディ・プログラム」の活用を通して、実感の伴った確かな学びが着実に行われるよう、日頃の授業改善の取組と同様に、学習課題の設定とそれに対応したまとめに重点を置いて、教員への研修を進めていきます。

#### ⑥ いじめに関する第三者委員会の設置

いじめ防止対策推進法の施行に伴い、本市のいじめ防止等のための基本的な方針を制定しました。この基本的な方針では、いじめの未然防止や発生した場合の調査に関して、外部人材を取り入れた「いじめ防止市民連絡協議会」「新潟市いじめ防止対策等専門委員会」「新潟市いじめ問題調査点検委員会」の3つの組織を設置しました。

委員の方々の意見を参考に、いじめの未然防止、早期発見・対応の取組を推進しています。

## ⑦ 第20期にいがた市民大学事業の実施

第20期目の節目を迎えたにいがた市民大学事業において、記念講座を含む全7講座を実施しました。

講座受講生や一般市民を対象とした入学式兼公開講演会では、ノーベル賞受賞者の白川英樹博士をお招きし、「私の歩んだ道～自然に学ぶ楽しさ～」と題した記念講演を行いました。

また、開設講座においては、まちづくりや、災害への備えについて考察する講座のほか、過去に実施し人気を博した「いのちの文化論」講座を、現代の時流に合わせ内容をリメイクし、20周年記念講座として開設するなど、講座内容の充実を図りました。

## ⑧ 新津図書館、坂井輪図書館の開館と新たなサービスの実施

新津図書館の新築・移転が完了し7月に開館、延床面積は1.8倍、蔵書収容能力は1.1倍になりました。併せて、廃止された視聴覚センターの視聴覚教材等貸出業務を引き継ぎました。

平成26年1月から開始した坂井輪図書館の耐震改修工事が終了して8月に開館し、延床面積は3倍、蔵書収容能力は1.4倍になりました。規模拡大を機に西区の中心図書館に位置付けました。

両館ともに、利用状況は従前の約3割増となっています。

上記2館について、施設拡充と業務量増加に対応するため窓口業務の民間委託を導入した他、木戸地区図書室については、蔵書を併設施設の指定管理者に移管することにより廃止するなど、効率的・効果的な運営に努めました。

また、新たなサービスとして、子ども連れで気軽に利用できる「赤ちゃんタイム」を設定した他、高齢者施設向けのテーマ図書セット（愛称「いきいきBOX」）を作成し団体貸出を始め、図書館利用の拡大を図りました。

### Ⅲ 新潟市教育ビジョンの施策評価について

新潟市教育ビジョンの平成26年度の実施状況について、有識者の知見を活用した評価を以下に示します。

#### 1 平成26年度施策評価一覧

全施策の平均 3.09 (学びの扉の平均3.03)

評価分布(評価対象60指標)

・目標を上回って達成…23.3% ・目標どおり達成…51.7% ・目標を少し下回った…23.3% ・目標を大きく下回った…1.7%

凡例  
 目標を上回って達成 …4  
 目標どおり達成 …3  
 目標を少し下回った …2  
 目標を大きく下回った…1

基本施策(14施策)		施策(62施策)		H26施策評価(後期進捗)	
		網掛…5つの「学びの扉」に該当する施策 ☆…説明に取り上げる施策			
1	確かな学力の向上	1-1(1)	学ぶ目的意識をもち、将来の生き方を考える教育の推進	3.0	3.2
		1-1(2)	自ら学び自ら考える教育の推進	3.0	
		1-1(3)	基礎・基本を身に付ける教育の推進 ☆	3.2	
		1-1(4)	学習習慣の定着と読書活動の推進	3.3	
2	豊かな心と健やかな体の育成	2-1(1)	いのちの教育・心の教育の推進	2.0	2.7
		2-1(2)	体験活動・ボランティア活動の支援 ☆	3.0	
		2-1(3)	文化・芸術活動体験の推進	4.0	
		2-1(4)	いじめ・不登校への対応 ☆	2.0	
		2-1(5)	非行等への対応 ☆	2.0	
		2-1(6)	体力づくりの推進 ☆	2.0	
		2-1(7)	健康づくりの推進	4.0	
		2-1(8)	食育の推進 ☆	3.5	
		2-1(9)	青少年の居場所づくり	2.0	
		2-1(10)	青少年の健全育成の推進	1.5	
3	世界と共に生きる力の育成	3-1(1)	地域学習の充実	3.0	3.0
		3-1(2)	国際理解教育の充実	3.0	
		3-1(3)	コミュニケーション能力の育成	2.0	
		3-1(4)	情報教育の充実	3.0	
		3-1(5)	環境教育の充実	3.0	
		3-1(6)	海外帰国子女教育・外国人児童生徒への教育の推進	4.0	
4	自立と社会参加を目指した特別支援教育の推進	4-1(1)	自立を目指す特別支援教育の推進	3.0	3.8
		4-1(2)	特別支援教育のサポート体制の推進 ☆	4.0	
		4-1(3)	市立養護学校のセンター的機能の充実	4.0	
		4-1(4)	ノーマライゼーションの推進	4.0	
5	校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり	5-1(1)	校種間連携の推進 ☆	3.0	3.0
		5-1(2)	学校間連携の推進	3.0	
		5-1(3)	幼児教育の充実	3.0	
6	人権を守り共に支え合う社会の推進	6-1(1)	人権教育・同和教育の推進 ☆	3.0	3.3
		6-1(2)	交流・体験活動の推進	4.0	
7	家庭教育の充実と子育て支援	7-1(1)	家庭教育充実の支援 ☆	2.7	2.4
		7-1(2)	子育て支援の充実 ☆	2.0	
8	生涯を通じて学び育つ学習機会の充実	8-1(1)	主体的な学習を支えるシステムづくり	2.0	2.8
		8-1(2)	学び育つ各世代への支援 ☆	2.0	
		8-1(3)	地域における生涯学習活動への支援 ☆	4.0	
9	まちづくりに生かす生涯スポーツの推進	9-1(1)	生涯にわたるスポーツ活動の推進	3.0	3.2
		9-1(2)	競技力の向上	2.5	
		9-1(3)	みる機会・交流機会の拡大	3.5	
		9-1(4)	住民主体のスポーツを支える組織の構築	3.0	
10	学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり	10-1(1)	地域と共に歩む学校づくりの推進 ☆	3.7	3.4
		10-1(2)	広報広聴活動の推進	4.0	
		10-1(3)	学校・地域・NPO等の協働の推進	3.8	
		10-1(4)	高等教育機関及び企業等との連携促進	2.0	
		10-1(5)	子ども・保護者・地域住民の学校運営への参画	3.0	
		10-1(6)	市民の生涯学習施設運営への参画	3.5	
		10-1(7)	区単位での教育支援体制の整備	4.0	
11	子どもの安全確保と学校・園の安全管理	11-1(1)	保護者や地域と連携した安全対策の推進	2.0	3.3
		11-1(2)	安全教育の充実	4.0	
		11-1(3)	安全な学校施設	3.5	
12	学校教育・生涯学習環境の整備	12-1(1)	効果的な指導を支援する施設設備の整備	3.0	3.1
		12-1(2)	コミュニティの拠点としての学校整備	4.0	
		12-1(3)	学校施設の整備	3.0	
		12-1(4)	公民館・図書館を核としたネットワークづくり	3.0	
13	市民に信頼される教育関係職員の育成	13-1(1)	教育関係職員の研修プログラムの充実 ☆	3.0	2.9
		13-1(2)	教職員への支援体制の充実 ☆	3.0	
		13-1(3)	信頼される教職員の採用・登用	2.5	
		13-1(4)	教育関係職員の人事管理の適正化	3.0	
14	ニーズと課題に応える教育行政の推進	14-1(1)	教育情報の収集と発信	4.0	3.4
		14-1(2)	学校を支援する新たなシステムづくり	4.0	
		14-1(3)	多様な教育の機会・支援体制の整備	3.0	
		14-1(4)	学校の適正配置	3.0	
		14-1(5)	効率的な執行体制の整備	3.0	
		14-1(6)	教育施策に対する評価の充実	3.0	

## 2 主な施策・事業の評価状況

「学びの扉」に該当する施策に加え、そのほかに重点的な取組を進めてきた施策を取り上げています。

### 1 確かな学力の向上

#### 1-(3) 基礎・基本を身に付ける教育の推進

H26施策評価
3.2

主な事業 ・学力実態調査 ・理数大好きプロジェクト  
 ・学力定着支援事業  
 ・学習支援員派遣事業

【学びの扉】

#### ●施策の目標

指標	現状	H22	H23	H24	H25	H26	H26評価
指標 1-(1) 学力調査で全国平均を上回った児童(小6・国語)の割合(%)							4
現状	60.8	→	→	64.0	→	65.0	
進捗状況		65.6	65.5	64.2	70.0	70.7	
指標 1-(2) 学力調査で全国平均を上回った児童(小6・算数)の割合(%)							4
現状	55.2	→	→	58.0	→	59.0	
進捗状況		54.1	68.9	67.8	66.2	73.4	
指標 2-(1) 学力調査で全国平均を上回った生徒(中3・国語)の割合(%)							2
現状	63.5	→	→	67.0	→	69.0	
進捗状況		60.5	61.4	67.6	65.9	67.3	
指標 2-(2) 学力調査で全国平均を上回った児童(中3・数学)の割合(%)							4
現状	53.4	→	→	55.0	→	56.0	
進捗状況		53.7	52.1	54.2	59.3	62.8	
指標 3 評価問題を活用している学校数(校)							3
現状	—	32	64	173	173	172	
進捗状況		171	173	173	173	172	
指標 4 学習支援員の派遣数(人)							2
現状	156	164	172	180	183	183	
進捗状況		154	193	159	173	164	

継続した授業改善の取組により、学力調査で、多くの児童生徒が全国平均を上回った。

・全国学力調査の全国平均を上回った児童生徒の割合で、小学校算数では、前年度と比べて7.2%、中学校数学では、3.5%向上した。

・教員の指導力向上を図るため、受講対象者を絞り込んだ研修会や全国学力・学習状況調査の結果を基にした授業改善研修会の実施、指導主事学校訪問で授業改善について具体的な指導を行った結果、ほとんどの教科で学力が向上した。

・算数・数学の単元評価問題、解説、補充問題の配信を継続してきたことから、算数・数学の学力が向上した。

・学校支援ボランティアでは、活動に携わる学生数は昨年とほぼ同数であるが、活動に長期的に取り組む学生が増えた。

### 2 豊かな心と健やかな体の育成

#### 2-(2) 体験活動・ボランティア活動の支援

H26施策評価
3.0

主な事業 ・子ども農山漁村交流プロジェクトの推進  
 ・子ども体験活動・ボランティア活動推進事業

【学びの扉】

#### ●施策の目標

指標	現状	H22	H23	H24	H25	H26	H26評価
指標 1 子ども農山漁村交流プロジェクト参加校の割合(%)							2
現状	93	97	97	100	100	100	
進捗状況		95.6	93.8	100	100	94.6	
指標 2 ジュニアリーダー育成講座の修了者数(人・累計)							4
現状	0	30	40	50	60	70	
進捗状況		16	111	151	176	266	

ほとんどの小学校が、自然体験学習や集団宿泊体験学習に取り組んだ。

・子ども農山漁村交流プロジェクトでは、自然体験学習や集団宿泊体験学習に、ほとんどの小学校で事業に取り組んだ。

・土日や夏休み期間を中心に、家庭ではできない集団活動やキャンプなどの野外活動、ものづくりなどの生活体験活動を実施し、異年齢や学校の違う子どもたちの仲間づくりを推進し、青少年の健全育成を図った。

2-(4) いじめ・不登校への対応

H26施策評価
2.0

主な事業・教育相談ネットワーク事業  
・カウンセラー等活用事業  
・不登校等未然防止プロジェクト

●施策の目標

指標 1	いじめの解消率(%)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26	2	
指標目標	72	78	84	100	100		
進捗状況	81.7	82.4	80.1	83.9	78.8		
指標 2	30日以上欠席した児童生徒数(人)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26	2	
指標目標	848	減少	→	→	→		
進捗状況	747	743	719	666	681		

30日以上欠席した児童生徒数が若干増加した。

・区教育支援センター，教育相談センター，訪問教育相談員，区教育相談室などの関係機関で不登校に関する情報を共有し，不登校の未然防止に向けた意識を高めた。

・管理職，主任層を対象とした「自律性と社会性をはぐくむ生徒指導」推進のための研修会を年間を通して実施することで，新潟市が推進する生徒指導の浸透を図った。

・生徒指導ガイドブックやリーフレットを全教職員に配付し，学校訪問等で，いじめや不登校を生まない学校・学級づくりの重要性を指導した。

2-(5) 非行等への対応

H26施策評価
2.0

主な事業・非行防止対策事業  
・中学校非行防止体制の充実  
・非行対策サポート事業

●施策の目標

指標 1	非行，暴力事故の解消率(%)→H25評価から発生件数の減少						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26	2	
指標目標	70	80	85(338)	減少	減少		
進捗状況	82.0	85.0(338)	240	288	362		

予防的な生徒指導の推進により，非行等の未然防止を図った。

・非行・暴力事故は，平成19年以降は減少傾向にあったが，平成25年度以降は増加傾向に転じた。

・SSW，SSTの派遣により，問題行動が深刻化する前の対応ができた。

・管理職，主任層，指導主事などを対象とした「自律性と社会性をはぐくむ生徒指導」推進のための研修会を年間を通して実施することで，課題解決型だけでなく予防的な生徒指導を推進した。

2-(6) 体力づくりの推進

H26施策評価
2.0

主な事業・体力向上ジャンプアップ推進事業  
・体力向上・運動大好きプロジェクトの推進  
・中学校部活動エキスパート・サポーター活用事業

●施策の目標

指標 1	中学校の体力テスト各項目で全国平均値を上回った項目の割合(%)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26	2	
指標目標	59.3	61.0	63.0	65.0	67.0		
進捗状況	75.0	66.7	47.9	50.0	52.1		

【学びの扉】

新潟市の児童生徒の体力は高い水準を維持している。

・「体力向上ジャンプアップ」について，各学校から実施計画を集約し，各校の実践の参考となるよう印刷配付した。

・文部科学省の中央研修「子どもの体力向上指導者養成研修」への派遣教員による実技講習を，幼・小・中すべての校種の教諭を対象に実施し，幼児から生徒までの体力づくりを進めた。

・部活動エキスパートを52校延べ76人，サポーターを26校延べ48人派遣し，運動部活動の活性化を図った。

## 2-(8) 食育の推進

H26施策評価
3.5

主な事業 ・「食に関する指導」推進事業 ・学校給食の充実事業  
 ・学校と家庭との連携・協力事業  
 ・中学校スクールランチ推進事業

### ●施策の目標

指標 1	児童生徒の朝食欠食率(%) (朝食を全く・ほとんど食べない割合)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26	2	
指標目標	3.9	2.0	1.5	1.0	0.5		
進捗状況	3.0	1.1	1.2	1.5	1.4		
指標 2	給食の残食量の減少(%)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26	4	
指標目標	4.0	3.8	3.6	3.4	3.2		
進捗状況	5.0	3.7	4.2	3.3	2.8		
指標 3	地場農林水産物の使用率(%) (食材数ベース)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26	4	
指標目標	14.5	15.0	15.0	15.0	15.0		
進捗状況	14.7	15.5	15.8	15.5	15.8		
指標 4	肥満傾向の児童生徒の割合(%)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26	4	
指標目標	8.30	8.25	8.20	8.15	8.10		
進捗状況	7.56	7.10	6.90	7.01	6.82		

### 【学びの扉】

朝食欠食率、給食の残食量、肥満傾向の児童生徒の割合が、低い水準を維持している。

・継続した食に関する指導や健康教育の取組により、指標の朝食欠食率や給食の残食量、肥満傾向の児童生徒の割合が、低い水準を維持している。

・学校給食の充実では、ご飯を基本とした地域の食材を使った栄養バランスのよい日本型の食事(完全米飯給食)を引き続き推進した。地場産食材の使用率もさらに向上した。

## 4 自立と社会参加を目指した特別支援教育の推進

### 4-(2) 特別支援教育のサポート体制の推進

H26施策評価
4.0

主な事業 ・特別支援教育の相談支援事業  
 ・特別支援教育ボランティアシステム

### ●施策の目標

指標 1	特別支援教育サポートセンターによる校内委員会支援延べ件数(件)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26	4	
指標目標	—	220	230	230	240		
進捗状況	391	423	536	433	473		
指標 2	特別支援教育ボランティアの登録者数(人・累計)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26	4	
指標目標	82	110	115	120	125		
進捗状況	151	197	241	267	172		

### 【学びの扉】

特別支援教育サポートセンターが核となり、学校や保護者の支援に努めた。

・特別支援教育サポートセンターが核となり学校や保護者の相談支援を行った。  
 学校からの支援依頼 369件  
 保護者からの相談 63件  
 (※電話相談も含む)

・特別支援教育ボランティアを募集し、登録した172人のうち、99人が学校・園で活動し、配慮を要する児童生徒の支援にあたった。

## 5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり

### 5-(1) 校種間連携の推進

H26施策評価
3.0

主な事業 ・幼・小・中連携・一貫教育の推進  
 ・中学校・高等学校教員交流

### ●施策の目標

指標 1	課題解決のための一貫した指導計画を作成した中学校区の割合(%)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26	3	
指標目標	20	40	60	80	90		
進捗状況	46.0	67.0	83.3	90.0	100.0		

### 【学びの扉】

9カ年を見通し、一貫した指導計画をすべての中学校区で作成した。

・幼・小・中学校連携推進会議を開催し、前年度の実績を踏まえた計画を立てるとともに、連携推進の方向性を検討した。

・すべての中学校区において、小・中一貫した指導計画を立て、教育活動を行った。

## 6 人権を守り共に支え合う社会の推進

### 6-(1) 人権教育・同和教育の推進

H26施策評価
3.0

主な事業 ・人権啓発事業 ・男女平等教育の推進  
 ・公民館の人権教育 ・子どもの権利条約の啓発  
 ・人権教育・同和教育の推進

#### ●施策の目標

指標 1	人権同和教育研修会の参加者数(人)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		3
指標目標	152	175	201	231	266	300	
進捗状況	165	312	291	780	311		
指標 2	公民館の人権教育事業の参加者数(人)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		2
指標目標	3,073	3,100	3,200	3,300	3,400	3,500	
進捗状況	2,750	3,234	2,939	3,817	3,341		
指標 3	外部講師による人権教育・同和教育に関する校内研修を実施した学校数(校・累計)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		4
指標目標	60	85	110	135	160	185	
進捗状況	111	155	204	248	309		

各種研修会の実施により、人権・同和教育の充実が図られた。

・人権同和教育研修会に、指標目標を上回る市職員・教職員311人が参加した。また、公民館では、男女共同参画講座や人権講座、国際理解講座を実施し、多数の市民の参加を得た。

・人権教育、同和教育に関する校内研修への講師派遣事業を継続し、小・中学校合同(中学校区を指定)での研修会等を支援した。この研修会等により人権教育、同和教育への理解を深めることができた。

## 7 家庭教育の充実と子育て支援

### 7-(1) 家庭教育充実の支援

H26施策評価
2.7

主な事業 ・家庭教育振興事業  
 ・「家庭と地域の教育力」調査・研究事業

#### ●施策の目標

指標 1	子育て学習出前講座の実施か所数(か所)(小・中学校など)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		2
指標目標	110	112	114	116	118	120	
進捗状況	106	111	106	113	116		
指標 2	各種家庭教育学級の実施か所数(か所)(プレママ学級を除く)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		3
指標目標	48	49	50	51	52	52	
進捗状況	52	54	55	58	58		
指標 3	プレママ学級の実施か所数(か所)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		3
指標目標	3	3	3	5	5	5	
進捗状況	4	5	5	5	5		

【学びの扉】

子育て学習出前講座実施か所を増やし、家庭教育充実の支援に努めた。

・朝ごはん料理講習会の実施 参加者 959人

・子育て学習の出前講座の実施(小・中学校) 参加校 116校

・乳幼児期等家庭教育学級及びプレママ学級の実施 参加者 9,031人

・家庭教育フォーラムの実施 参加者 166人

### 7-(2) 子育て支援の充実

H26施策評価
2.0

主な事業 ・子育て支援事業

#### ●施策の目標

指標 1	子育て支援事業の参加者数(人)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		2
指標目標	5,625	5,700	5,800	5,800	5,900	6,000	
進捗状況	5,757	5,802	5,569	5,737	5,781		
指標 2	子育てフリースペース等の参加者数(人)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		2
指標目標	13,266	13,500	13,500	14,000	14,000	15,000	
進捗状況	14,412	11,690	10,783	12,282	11,492		
指標 3	保育者研修会の参加者数(人)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		2
指標目標	259	260	270	280	290	300	
進捗状況	237	274	306	261	263		

【学びの扉】

子育て支援事業及び保育者研修会の参加者が漸増した。

・子育て中の親子を対象に、絵本の読み聞かせや親子遊び等を実施した。事業内容の見直しにより、参加者が漸増した。

・公民館等の16箇所子育てフリースペースを開設して、親の悩みを相談できる場の提供を行った。

・気軽に子どもを連れて出かけることができ、子育てに関する情報交換の場として、子育て不安やストレスの解消に役立っている。

## 8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実

### 8-（2） 学び育つ各世代への支援

主な事業 ・ビジネス支援講座 ・にいがた市民大学開設事業  
 ・アクティブシニア支援事業 ・現代的課題を学ぶ公民館事業  
 ・学習成果を発表する場の提供 ・子どもの読書環境の整備  
 ・子どもが読書に頼む機会の充実 ・ビジネス情報提供事業

H26施策評価
2.0

#### 【学びの扉】

#### ●施策の目標

指標 1	にいがた市民大学の受講者数(人)→定員に対する受講者の割合(%)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		2
指標目標	506	500	500	500	95	95	
進捗状況	406	420	429	96.0	84.5		
指標 2	公共図書館における児童書の貸出冊数(冊)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		2
指標目標	1,056,000	1,126,000	1,162,000	1,181,000	1,200,000	1,220,000	
進捗状況	1,063,000	1,099,900	1,099,500	1,046,300	1,042,000		
指標 3	公共図書館で実施する子ども・親子対象事業の参加者数(人)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		2
指標目標	17,300	18,500	19,000	19,600	20,250	20,900	
進捗状況	22,700	19,980	15,700	16,500	18,000		
指標 4	ビジネス支援調査の相談件数(件)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		2
指標目標	210	270	300	330	360	390	
進捗状況	340	340	250	347	377		

市民の学習活動の場の確保に努めた。

・にいがた市民大学は、専門性の高い講座や時代の変化や市民の学習ニーズに対応した講座を合計7講座開設した。

・児童書の貸し出し冊数が、指標に達しなかったが、公共図書館での12歳以下の子ども1人あたりの貸出冊数は、5年間で2.5%増加した。

・ビジネス関連事業では、起業・経営相談会(36回)やビジネス支援セミナー、データベースセミナーなどを開催した。ビジネス支援調査の相談件数が過去最多となった。

### 8-（3） 地域における生涯学習活動への支援

主な事業 ・地域学関連事業  
 ・地域コミュニティ活動活性化支援事業

H26施策評価
4.0

#### 【学びの扉】

#### ●施策の目標

指標 1	地域学関連事業の参加者数(人)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		4
指標目標	2,977	3,500	3,700	4,000	4,500	5,000	
進捗状況	3,193	3,799	5,176	6,148	6,994		
指標 2	公民館と連携事業を実施するコミュニティ協議会のか所数(か所・累計)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		4
指標目標	24	26	28	30	32	36	
進捗状況	41	54	60	65	67		

全区で地域学関連事業が実施され、学びと学びの還元を通じて地域のネットワークづくりが図られた。

・各区の歴史や文化・自然を学ぶ講座を企画・実施し、地域づくりに結び付ける学習につなげた。

・コミュニティ活動活性化支援事業では、各館が地域団体と連携し、超高齢・少子社会に対応する事業・イベントを実施した。地域のつなぎ役となるコミュニティコーディネーターの育成講座を全区で実施した。

## 10 学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり

### 10-（1） 地域と共に歩む学校づくりの推進

主な事業 ・地域と学校パートナーシップ事業  
 ・ふれあいスクール事業  
 ・学校開放事業

H26施策評価
3.7

#### 【学びの扉】

#### ●施策の目標

指標 1	地域教育コーディネーターの配置校数(校・累計)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		3
指標目標	64	104	→	→	→	171	
進捗状況	105	139	158	173	172		
指標 2	ふれあいスクール事業の実施校数(校・累計)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		4
指標目標	43	47	51	54	57	60	
進捗状況	47	51	57	62	68		
指標 3	公民館出前型事業の実施校数(校・累計)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		4
指標目標	32	32	36	36	38	40	
進捗状況	35	56	73	87	106		

すべての市立学校に配置された地域教育コーディネーターが地域と共に歩む学校づくりを推進した。

・市立の全校(172校)に配置された地域教育コーディネーターの資質向上を図るため研修会を実施した。また、一般市民に事業趣旨の理解や参画意欲の醸成を図るため、地域と学校ウェルカム参観日を16校で実施した。

・ふれあいスクール公民館出前型事業は、運営主任や地域教育コーディネーターが連携を取り、新規校を含め66校で実施され、地域と学校がつながるきっかけとなった。



### 13 市民に信頼される教育関係職員の育成

#### 13-（1）教育関係職員の研修プログラムの充実

H26施策評価
3.0

主な事業 ・マイスター養成塾等スキルアップ研修の推進  
 ・学社民融合研修の推進  
 ・社会教育主事の養成の推進

##### ●施策の目標

指標	現状	H22	H23	H24	H25	H26	H26評価
指標 1	各研修講座における受講者の満足度(%) (充実した研修だったかをA,B,C,Dの4段階で評価したときAと答えた受講者の割合)						4
指標目標	80	80	80	80	80	80	
進捗状況		84.5	88.3	86.6	85.8	88.4	
指標 2	マイスター養成塾の修了者数(人・累計)						4
指標目標	47	60	70	80	90	100	
進捗状況		57	66	78	90	102	
指標 3	学社民融合研修の受講者数(人)						2
指標目標	437	503	578	636	699	770	
進捗状況		1,104	745	839	1,126	749	
指標 4	社会教育主事講習の修了者数(人・累計)						2
指標目標	36	39	42	45	48	50	
進捗状況		37	33	35	37	41	

##### 【学びの扉】

研修プログラムの改善により、講座受講者の満足度が目標を上回った。

・前年度に引き続き、研修後の受講者満足度が目標を大きく上回った。指導主事が直接学校に向いて研修を開催する「出前研修」の申込みは前年度31件から140件に増加し、校内研修の活性化に寄与している。

・マイスター養成塾では、他の模範となる優れた教師力をもつマイスター教員養成のため、指導主事がマンツーマンで指導を行い、1年目受講者12名全員が終了し、7名がマイスターに認定された。

#### 13-（2）教職員への支援体制の充実

H26施策評価
3.0

主な事業 ・支援を要する教職員の研修  
 ・教職員ヘルスケアシステム  
 ・多忙化解消対策の推進

##### ●施策の目標

指標	現状	H22	H23	H24	H25	H26	H26評価
指標 1	支援を要する教職員の人数(人)						3
指標目標	30	減少	→	→	→	→	
進捗状況		25	21	17	16	15	
指標 2	教職員の病気休暇・休職者の人数(人)						2
指標目標	108	減少	→	→	→	→	
進捗状況		108	87	89	103	128	
指標 3	放課後に子どもと接する時間が1週間あたり5時間以上の教員の割合(%)						4
指標目標	18.5	19.0	20.0	—	—	—	
進捗状況		25.8	49.7	58.7	64.7	64.2	

##### 【学びの扉】

多忙化解消の取組により、教員が子どもと接する時間が高い割合で保たれている。

・総合教育センターと連携し予防的研修を行うことにより、支援を要する教員が漸減した。

・教職員ヘルスケアシステムによる研修や過重労働者に対する保健指導を実施しているが、23年度以降、増加傾向にある。

・管理主事訪問や校長面談を通じ、全学校園で多忙化解消の取組状況の把握と指導を行った。

### 3 教育ビジョン推進委員からの主な質問・意見・要望と教育委員会の対応

#### 施策1－(3) 「基礎・基本を身に付ける教育の推進」

○ 外部の方と学校と一緒に学習支援に取り組んでいることは大変評価しているが、学習支援員の派遣数が伸びない状況にある。学習支援員、学校支援ボランティアの派遣数の改善に向けての取組を進めてほしい。

⇒ 学習支援員は、おもに大学生による学習支援ボランティアの人数である。募集方法は、新潟大学、青陵大学、県立大学の3校に、小・中学校から要望があったという掲示（校名を明示）を行い、学生のニーズと学校側のニーズが一致した場合に派遣するというようなシステムになっている。指標目標は、全小中学校に配置を目安として183人となっているが、実際は、各大学の学生の住居が西区や中央区近辺に偏っており、交通手段等の問題もあり、派遣できない学校もあることが課題である。派遣可能な範囲では多くの学生が学校に入っており、派遣校においては、子どもにも教職員にも大変好評である。課題については、27年度開始のアフタースクール支援事業の展開により解決を進めていきたい。

#### 施策2－(8) 「食育の推進」

○ 児童生徒の朝食欠食率が1.4%という数字が出ている。今、子どもの貧困について大きな社会問題となっているが、この1.4%というのは、教育委員会では、どのような子どもたちが朝食を食べていないのだととらえているのか。食育推進の中で、子どもたちの基本的な生活習慣を確立する上で、朝食というのはとても大事である。貧困が原因の子どもたちへのサポートは福祉と連携していかなければいけないと思うがいかがか。

⇒ 1.4%の中に、どのくらいの割合で、経済的な理由による朝食の欠食が含まれているのかは把握していない。今後、関係課とも情報を共有し、食育のさらなる充実に向けての連携を検討していきたい。

#### 施策3－(3) 「コミュニケーション能力の育成」

○ 後期進捗の評価は厳しい結果となったが、ALTの派遣システムからいって、これ以上の数値向上は大変難しい。現場は一生懸命やっていると思うので、指標目標の設定の工夫が必要である。

⇒ 指標目標の設定については指摘のとおりである。今後、英語については、ALTの指導力と数の確保、教員の英語力の向上、指導法の改善といった切り口から検討し、中学校長会からも協力していただきながら取組を進めていきたい。

### 施策3－(4) 「情報教育の充実」

○ タブレットを活用できる教員の育成という面から、学校へのタブレット整備が必要である。タブレットを入れるという条件整備、さらにそれを使う教員育成という、教育の基盤整備にかかわる部分の予算等について十分な措置を講じてほしい。

⇒ タブレット型コンピュータについては、平成26年度から、小・中学校1校あたり10台の基準で配置を始め、小学校2校で20台、中学校7校で70台、合計90台整備した。今後も予算をにらみながら、配置を進めていく。

### 施策4－(2) 「特別支援教育のサポート体制の推進」

○ 特別な支援が必要な子どもたちに対するサポートとして、区教育支援センターがどのような役割をしているのか。また、入学支援ファイルの活用状況はどうなっているのか。

⇒ 教育支援センターは昨年度より全8区に設置され、教育の相談窓口として、指導主事が配置されている。特別な支援を必要とする子どもの相談窓口としての機能もあり、そこで、解決しなければ、より専門的な機関へ紹介するという形をとっている。入学支援ファイルについては、校長会を通して、その意味、価値について説明し、活用を十分図るように校長に指導している。ただ、課題として、今は、年長児からだが、なるべく早い段階(3歳児)からスタートすることが可能なかどうかということ、関係課と情報交換をして検討していきたい。

### 施策7－(2) 「子育て支援の充実」

○ 新潟市では、昨年12月に、新すこやか未来アクションプランということで、子ども子育て支援新制度に対応した計画が出たばかりだが、新教育ビジョンとの関連はどうなっているか。

⇒ 新プランの作成段階から教育委員会も部会に入って、一緒に策定してきた。新教育ビジョンでは、保育園や福祉サイドとも連携しながら幼児教育を進めていくというところで、幼保小の連携として位置付けられている。特に幼稚園、保育園のこども園化というところは、福祉サイドとの検討がスタートを切ったところである。

### 施策8－(2) 「学び育つ各世代への支援」

○ 図書館は、学校図書支援としてオレンジBOXを設けたということで、大変、素晴らしい取組だと思っている。もし可能であれば、社会教育支援という形でBOXを考えることはできないのか。

⇒ 今でも公民館の講座で要望があれば、そこに、一緒に入っている図書館なりから資料を提供している。その都度いろいろな資料があるので、BOXをあらかじめ作って提供するのがいいのか、それとも、その講座ごとに要望を聞いて、その都度本を揃えて提供するのがいいのか検討したうえで、これから取り組んでいきたい。また、要望が多ければ、家庭教育のBOXなども考えていきたい。

### 施策10－(1) 「地域と歩む学校づくりの推進」

○ 大都市校長会での情報交換の中で、新潟市のように、地域教育コーディネーターを全校に配置をしているところは大都市の中にはなかった。新潟市は大変進んでいると思っている。ただ、社会教育施設の持っているポテンシャルを、学校が十分に活用できていないのではないか。公民館、図書館、美術館、博物館、様々な施設と、もっと学校が手をつないでいく必要がある。新教育ビジョンでも、ぜひここを大きく取り上げてもらいたい。

学校と社会教育施設との連携のほかに、社会教育団体であるPTAとの連携、NPOとの連携も模索し、様々な資源の活用が進むとよい。

⇒ 公民館においては、学・社・民融合支援主事、支援担当者を各館に配置して、地域教育コーディネーターが相談しやすい体制をとっている。今後も、学校や社会教育団体等との連携を深めていきたい。

### 施策13－(1) 「教育関係職員の研修プログラムの充実」

○ 新潟市の高校の授業改善について、アクティブラーニングが一つのキーとなるが、高校における現状を聞きたい。また、アクティブラーニングでは教師の技量が求められている。そうしたときに、マイスター同士でプロジェクトを組んで、よりよいものを授業で作るなどの取組を進めてほしい。

⇒ 新潟市立高校の場合は、教育委員会の学校訪問の際、アクティブラーニングの手法を繰り返し指導し、その必要性は高校現場でも感じてもらっている。これからも繰り返し、継続的に指導していきたい。高校は、どうしても出口指導である大学進学に関する授業が中心的になる傾向がある。ただし、今後、大学入試制度改革に応じて、高校でもアクティブラーニングによる資質向上を目指していく必要があると考えている。

マイスターの活用については、今年度からの新たな取組として、校内研修や市の小・中学校の教育研究協議会へマイスターチームによる授業づくり支援、マイスターチームによる指導案検討等を始めている。

参考資料 新潟市教育ビジョン推進委員会平成26年度施策評価経過

No.	開催会議等	開催年月日	協議内容等
1	第26回推進委員会	平成26年 2月12日(水)	・平成26年度主要事業について ・次期教育ビジョンについて
2	第28回推進委員会	平成26年 10月29日 (水)	・平成26年度施策実施状況について(中間評価) ・新潟市教育ビジョン第3期実施計画(案)について
3	第30回推進委員会	平成27年 5月26日(火)	・平成26年度施策評価について

新潟市教育ビジョン推進委員会(第4期)委員名簿

任期：平成24年4月1日～平成26年3月31日

No.	氏名	所属
1	岩田 すみ江	横越小学校長
2	梅津 威	公募委員
3	岡 昌子	北新潟地域づくり学会副代表
4	川端 弘実	白新中学校長
5	中村 恵子	新潟青陵大学看護福祉心理学部教授
6	眞谷 誠祐	元新潟市小中学校PTA連合会会長
7	宮藺 衛	新潟大学教育学部教授

新潟市教育ビジョン推進委員会(第5期)委員名簿

任期：平成26年4月1日～平成28年3月31日

No.	氏名	所属
1	石坂 学	鳥屋野中学校長
2	岩田 すみ江	山田小学校長
3	大宮 一真	新潟市小中学校PTA連合会会長
4	高橋 文子	新潟県生涯学習協会事務局長
5	中村 恵子	新潟青陵大学看護福祉心理学部教授
6	松下 久美子	公募委員
7	宮藺 衛	新潟大学教育学部教授